

様式第 28 号 (第 2 条関係) (用紙 日本産業規格 A 4 縦型)

医療法人事業報告書等届

令和 7 年 10 月 23 日

静岡県知事 鈴木 康友 様

医療法人の名称	医療法人社団望洋会
主たる事務所の所在地	静岡県伊東市和田 1 丁目 4 番 20 号
代表者の氏名	理事長 横山 健

令和 6 年度
第 34 期 の決算を終了したので、医療法第 52 条第 1 項の規定により届け出ます。

提出書類

- (1) 事業報告書
- (2) 財産目録
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書
- (5) 監事の監査報告書

(注)

- 1 医療法施行規則第 32 条の 6 第 1 号に掲げる者と同条第 2 号に掲げる取引がある場合は、関係事業者との取引の状況に関する報告書を添付すること。
- 2 社会医療法人の場合は、医療法第 42 条の 2 第 1 項第 1 号から第 6 号までの要件に該当する旨を説明する書類を添付すること。
- 3 医療法施行規則第 33 条の 2 第 1 号及び第 2 号に規定する法人の場合は、次の書類を添付すること。
 - (1) 純資産変動計算書
 - (2) 附属明細表
 - (3) 公認会計士又は監査法人の監査報告書
- 4 医療法施行規則第 33 条の 2 第 3 号に規定する法人の場合は、次の書類を添付すること。
 - (1) 純資産変動計算書
 - (2) キャッシュ・フロー計算書
 - (3) 附属明細表
 - (4) 公認会計士又は監査法人の監査報告書
- 5 社会医療法人債発行法人であって社会医療法人でない医療法人は、その他必要な書類を添付すること。
- 6 貸借対照表及び損益計算書は、病院、診療所又は介護老人保健施設別のものを提出する必要はなく、法人全体のものを提出すれば足りること。



様式 1

事業報告書
(自 令和6年8月1日 至 令和7年7月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団 望洋会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☐ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2) 事務所の所在地 静岡県伊東市和田1丁目4番20号

(3) 設立認可年月日 平成3年7月11日

(4) 設立登記年月日 平成3年8月1日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	横山 健	伊豆のさと診療所 院長
理 事	伊藤 文子	横山医院 院長着任
同	斉藤 利江	望洋会 看護師長
同	鈴木 秀明	望洋会 総務課長
同	佐原 正宣	望洋会 透析室 課長 令和6年9月11日 理事着任
監 事	木元 俊秀	

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	横山医院	静岡県伊東市和田1丁目4番20号	一般病床 19床
診療所	伊豆のさと診療所	静岡県伊東市宇佐美2414番地	

(2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務)

特になし

(3) 収益業務 (社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務)

特になし

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 7 年 6 月 27 日

令和 7 年度の事業計画及び収支予算の決定

令和 7 年度の借入限度額の承認

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

特になし

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

【法人全体】

○職員全体が働きやすい環境を作ることによってすべての職員がその能力を発揮できるようにするため、次のような行動計画を策定する。

計画期間（令和年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日）

① 産前産後休暇や育児休暇の利用率 100%を目指す

② 小学校入学までの子を持つ職員が、希望する場合に利用できる短時間勤務制度の導入

※法人のホームページにて掲載

○有給休暇が 10 日以上付与されている職員に対して、その内 5 日については付与から 1 年以内に時季を定めて取得することにする。

○パート勤務者の有休起算日を正社員同様、入社半年後に所定労働日数に応じて付与する。

○新型コロナウイルスワクチン接種後、高熱などを発症し勤務できない状態になった場合は必ず横山医院を受診のこと。

○診療報酬等に係る体制等

【横山医院】

- ・情報通信機器を用いた診療に係る基準
- ・機能強化加算
- ・外来感染対策向上加算
- ・医療 DX 推進体制整備加算
- ・連携強化加算
- ・時間外対応加算 1
- ・地域包括診療加算
- ・有床診療所入院基本料
- ・有床診療所緩和ケア診療加算
- ・協力対象施設入所者入院加算
- ・短期滞在手術基本料 1
- ・糖尿病合併症管理料
- ・腎代替療法実績加算
- ・在宅療養支援診療所

- ・在宅緩和ケア充実診療所・病院加算
- ・医療機器安全管理料 I
- ・介護保険施設等連携往診加算
- ・在宅医療 DX 情報活用加算
- ・在宅時医学総管理料・施設入居等医学総管理料
- ・在宅医療情報連携加算
- ・在宅がん医療総合診療料
- ・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料遠隔モニタリング加算
- ・CT撮影およびMR I 撮影
- ・人工腎臓 1
- ・導入期加算 2
- ・透析液水質確保加算
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・外来ベースアップ評価料 I
- ・入院ベースアップ評価料 38
- ・新型コロナウイルス関連検査
- ・抗原検査 SARS-CoV-2 抗原検出
- ・PCR 検査 SARS-CoV-2 核酸検出
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種実施

下記施設基準に関しては新規取得

- ・外来ベースアップ評価料 I 2025 年 1 月 1 日より算定
- ・入院ベースアップ評価料 70 2025 年 1 月 1 日より算定
- ・入院ベースアップ評価料 38 2025 年 7 月 1 日より 70→38 に修正

【伊豆のさと診療所】

- ・機能強化加算
- ・外来感染対策向上加算
- ・医療 DX 推進体制整備加算
- ・時間外対応加算 3
- ・地域包括診療加算
- ・糖尿病合併症管理料
- ・在宅療養支援診療所
- ・在宅医療 DX 情報活用加算
- ・在宅時医学総管理料・施設入居等医学総管理料
- ・在宅医療情報連携加算
- ・人工腎臓 1
- ・透析液水質確保加算

- ・ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・ 外来ベースアップ評価料Ⅰ
- ・ 外来ベースアップ評価料Ⅱ

- ・ 新型コロナウイルス関連検査
- ・ 抗原検査 SARS-CoV-2 抗原検出
- ・ PCR 検査 SARS-CoV-2 核酸検出

下記施設基準に関しては新規取得

- ・ 外来ベースアップ評価料Ⅰ 2025 年 1 月 1 日より算定
- ・ 外来ベースアップ評価料Ⅱ 2025 年 1 月 1 日より算定

(7) その他

横山医院・伊豆のさと診療所とも特になし

様式 2

法人名 医療法人社団 望洋会

※医療法人整理番号

所在地 静岡県伊東市和田1丁目4番20号

財 産 目 録

(令和 7年 7月31日現在)

1. 資 産 額	1,712,998 千円
2. 負 債 額	219,349 千円
3. 純 資 産 額	1,493,649 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	911,868
B 固 定 資 産	798,572
C 繰 延 資 産	2,558
D 資 産 合 計 (A+B+C)	1,712,998
E 負 債 合 計	219,349
F 純 資 産 (D-E)	1,493,649 ✓

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3-2

法人名 医療法人社団 望洋会

※医療法人整理番号

所在地 静岡県伊東市和田1丁目4番20号

貸 借 対 照 表

(令和 7年 7 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	911,868	I 流 動 負 債	112,335
II 固 定 資 産	798,572	II 固 定 負 債	107,014
1 有 形 固 定 資 産	781,795	(うち医療機関債)	0
2 無 形 固 定 資 産	3,106	負 債 合 計	219,349
3 そ の 他 の 資 産	13,671	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)	0	科 目	金 額
III 繰 延 資 産	2,558	I 基 金	
		II 利 益 剰 余 金	1,493,649
		(うち代替基金)	0
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	1,493,649
資 産 合 計	1,712,998	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,712,998

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式4-2

法人名 医療法人社団 望洋会

※医療法人整理番号

所在地 静岡県伊東市和田1丁目4番20号

損 益 計 算 書

(自 令和 6 年 8 月 1 日 至 令和 7 年 7 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	861,577
2 事業費用	696,322
本来業務事業利益	165,255
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	1,552
2 事業費用	1,241
附帯業務事業利益	311
事業利益	165,566
II 事業外収益	11,742
III 事業外費用	1,263
経常利益	176,045
IV 特別利益	822
V 特別損失	192
税引前当期純利益	176,675
法人税等	26,238
当期純利益	150,437

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 望洋会

理事長 横山 健 殿

私は、医療法人社団望洋会の令和6年会計年度(令和6年8月1日から令和7年7月31日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款(寄附行為)に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款(寄附行為)に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款(寄附行為)に違反する重大な事実はありません。

令和7年9月26日

医療法人社団 望洋会

監 事

木元 俊亮